

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN-631183

Page 1 of 2

三菱ガス化学株式会社

<検証の目的>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）は、三菱ガス化学株式会社（以下、組織）より、2023 年度における三菱ガス化学グループの温室効果ガス（GHG）排出量の算定結果に関して、第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する GHG 排出量の算定結果に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

<検証の範囲>

検証の範囲は、以下の通りであり、2023 年度における対象組織の日本国内及び海外での事業における GHG 排出量である。

- 対象組織 : 三菱ガス化学(株)および国内子会社 3 社(日本コピカ(株)、(株)日本ファインケム、MGC エレクトロテクノ(株))
- GHG 排出量 : Scope 1、Scope 2（マーケット基準 / ロケーション基準）

日本国内の排出量には、『『省エネルギー法的報告書・中期計画書（特定事業者等）記入要領（2023 年 5 月 18 日改訂）』1.(11)産業部門における地縁的一体性を持った複数事業者の取り扱い』に基づいて組織がエネルギー管理を担っている組織外の事業者から排出される GHG が含まれる。

<算定・検証基準>

検証対象である GHG 排出量の特定・計算・監視・報告の基準は、GHG Protocol Corporate Accounting and Reporting Standard (revised edition)、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」(経済産業省・環境省、2024 年 3 月)、「GX リーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン」(経済産業省、2024 年 4 月)、及び組織が独自に策定した算定ルールである。検証の基準は、ISO 14064-3:2019、「GX リーグ第三者検証ガイドライン」(経済産業省、2023 年 11 月)に加えて、組織の定める算定報告手順で要求される基準である。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は GHG 排出量の算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、GHG 排出量の主張に関して、GHG 排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。

場所・日時 : 日本・神戸、2024 年 11 月 14 日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



Masahiro Takahashi / 高橋 雅宏
Approved Verifier



Sahori Murasawa / 村澤 佐保里
Technical Reviewer



Naoki Maeda / 前田 直樹
Representative Director / SCPA
Senior Vice President

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN-631183

Page 2 of 2

<算定及び検証の対象期間>

2023年度GHG排出量の算定及び検証の対象期間は、2023年4月1日より2024年3月31日である。

<組織境界>

☒ 支配力基準 ☐ 出資比率基準 ☐ その他の基準

<検証された GHG 排出量>

DNVの検証意見としてGHG排出量は、現実性・透明性・測定可能性があるものである。

- GHG 種別 : ☒ CO₂ ☒ CH₄ ☒ N₂O ☒ HFCs ☒ PFCs ☒ SF₆ ☒ NF₃
- GHG 排出量 (Scope1) : 574,766 t-CO₂e (GX リーグ報告用 : 574,757 t-CO₂e)
- GHG 排出量 (Scope2) : マーケット基準 175,521 t-CO₂e (GX リーグ報告用 : 170,705 t-CO₂e)
ロケーション基準 193,999 t-CO₂e

上記のGHG排出量はすべて検証済みである。

<検証意見>

☒ 無限定適正 ☐ 限定適正 ☐ 意見差し控え

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。